

心理的安全性の高い組織構築に向けたご提案

株式会社マネジメントソリューションズ

組織の雰囲気改善と共に、各人の状況の捉え方に変化をもたらす必要があると考えます。

組織のあるあるな問題点

組織の雰囲気

会議での建設的な議論が少なく、圧を感じる空気が漂う

トップダウンで意思決定がなされるケースが多い

上司と部下が活発に意見交換する場が少ない/無い

他部署との会議は協議ではなく対立になってしまう

捉え方

相手が要望を理解できず、圧をかけた方が品質が上がる

要件だけを伝える時間しかない

意思疎通できていると思っている / 組織に問題はない

解決の方向性

“心理的安全性”の概念と組織作りの方法論を学ぶ（研修形式）

社員交流の場や社内WGを意図的に増やす

有識者が組織に入り込み社員との共に組織改革を進める

仕事の進め方を見直す
(マネジメント課題の改善)

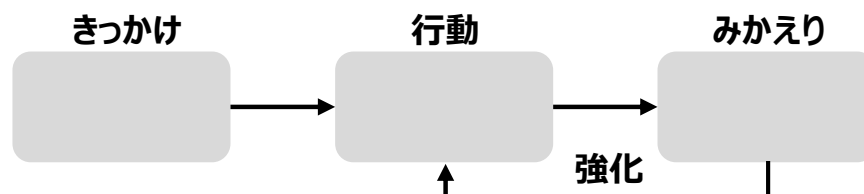
組織の心理的安全性を向上させる方法を一例としてご紹介します。

後方支援

- ◆ **研修の実施** : 心理的安全性、マインドフルネス、キャリア、SDGs 等
※補足資料あり
- ◆ **定量的評価** : 組織の心理的安全性成熟度を定期的・客観的に評価

前線支援

- ◆ **言語行動・行動分析** : 過去の事象や会議でのやり取りを基に、以下のフレームワークに基づき行動が引き起こされるきっかけとみかえりを分析し、PJとして目指す行動が強化されるようマネジメント層が意識的に振舞っていきます



- ◆ **チーム・プロジェクトにとって大切なことを言語化するWG** :

個人単位、機能的なチーム単位、そしてプロジェクト全体の3段階にてそれぞれ大切にしたいことを言語化するWGを実施します
個人Work→ディスカッションのサイクルを繰り返し、実施単位を徐々に広げることで、目的・価値観を共有することが可能です

- ◆ **リーダー陣との1on1（カウンセリング）支援** :

自分の考えや感情を言語化する機会が増えることで、自己理解が深まり、自律性が高まります
社内で実施するパターンもあれば、利害関係のない第三者に委託する形式もございます

心理的安全性の高い組織を作るためには、「心理的安全性」の普及から始まり、「組織作りの教育」、「組織の再構築」という3つのステップが必要です。



「心理的安全性」の普及

「心理的安全性」の基礎を学び、
組織内に共通理解を広げる

組織作りの教育

リーダー陣向けに「心理的安全性」の高い
組織作りを教育する

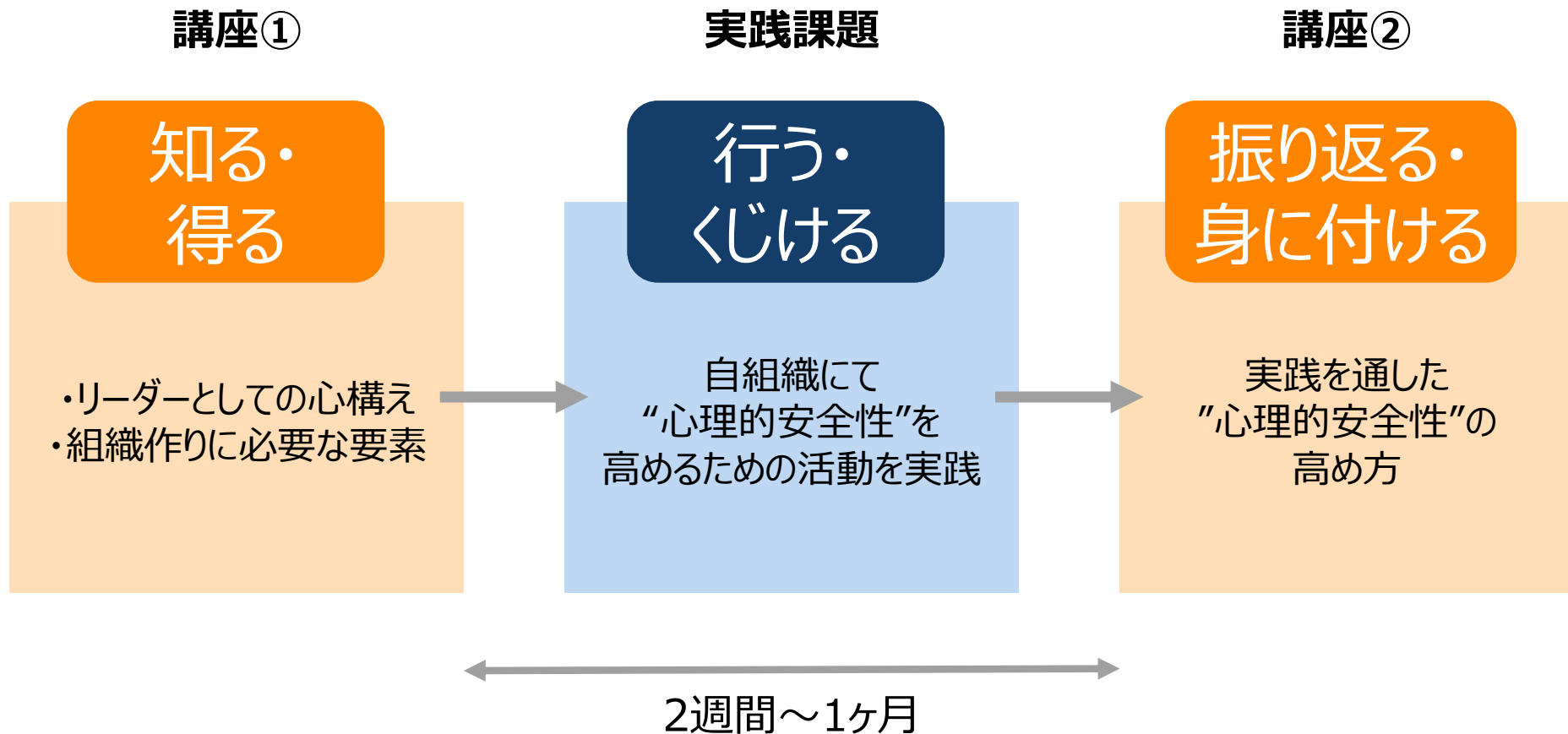
組織の再構築

「心理的安全性」の高い組織を
組織一丸となって再構築する

組織作りのステップに合わせ、下記サービスを組み合わせでご提案させていただきます。

	サービスメニュー	価格目安
コンサル	組織改善施策の立案・実行	300万/月
	言語行動・行動分析等の現場支援	200万/月
	リーダー陣との1on1(カウンセリング)支援 (週1回)	100万/月
	定量評価 (組織サーベイ)	要相談 (他メニューと併用)
研修	心理的安全性研修 ～アドバンス編～ (5回・宿題有)	100万
	心理的安全性研修 ～アドバンス編～ (2回・宿題有)	50万
	心理的安全性研修 ～基礎編～	20万

座学・ワークショップと実践課題を交互に織り交ぜることで、より効果的に“心理的安全性”の高い組織作りを体感いただきます。

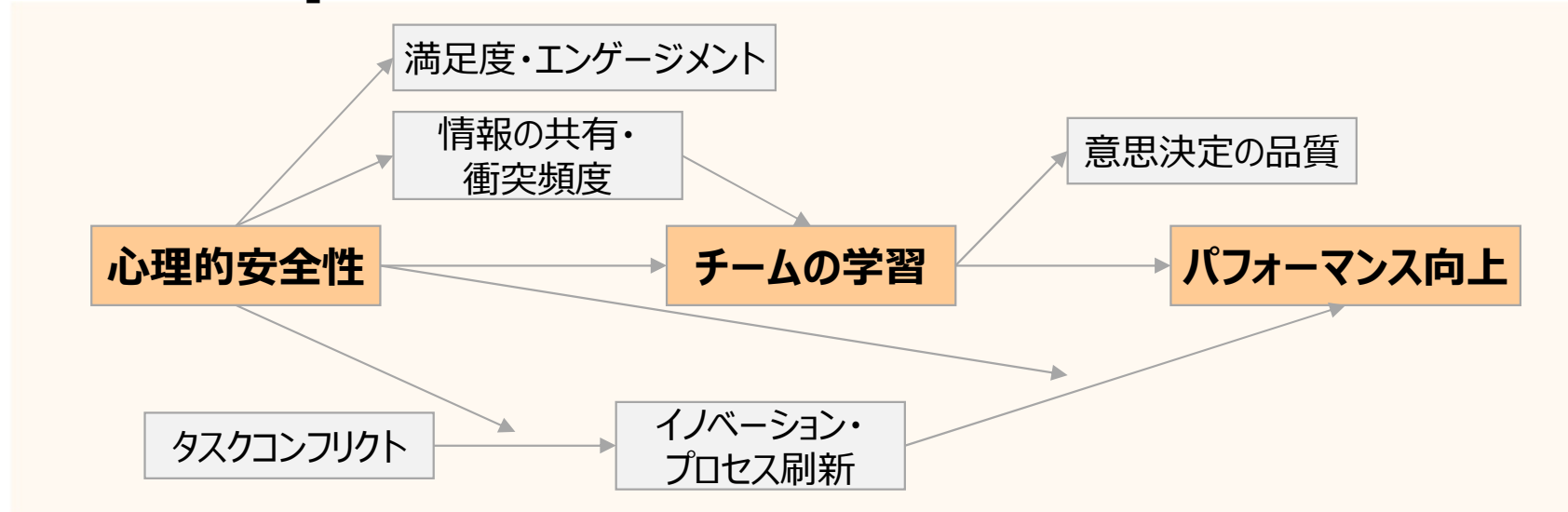


内容		研修名	リーダー向け“心理的安全性”の高い組織作り			
研修分類			<input type="checkbox"/> OJT	<input checked="" type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> ワークショップ	<input type="checkbox"/> eラーニング
対象者	チーム・組織をマネジメントする立場の方					
研修の目的	<p>以下の要素を身につけるための研修となります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. “心理的安全”な組織を作るリーダーとしての心構えと振る舞いを習得する 2. “心理的安全性”の高い組織作りに必要な観点を理解する 3. “心理的安全性”の高い組織を作る方法を体感する 4. リーダーに必要な要素を自身で内省する 					
達成基準	“心理的安全性”の高い組織を作るためにリーダーとしてどういった心構えと振る舞いをすべきか理解し、チーム・組織のメンバーへ組織への思いを伝え、かつメンバーを巻き込むことができる					
研修の流れ	<ol style="list-style-type: none"> 0. 事前準備：なし 1. 講座① ～リーダーとしての心構え・組織作りに必要な要素～ 2. 中間課題（約2週間～1ヶ月） 3. 講座② ～実践を通じた“心理的安全性”の高め方～ 					
講師	株式会社マネジメントソリューションズ 大内傑					
研修概要	実施環境	対面（オンライン環境の併用可）				
	時間（※相談可）	講座①：3時間 講座②：3時間				
	最低実施人数	4名（ワークショップの都合上）				
本研修実施時のリスク	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普段感じていることを発言することが拒まれる要素が含まれ、効果が半減する ・ 通常業務から離れた研修環境をに身を置くことが困難であり、研修に集中できない 					

気兼ねなく議論できる環境を整えることで、情報共有やチーム学習を加速させ、パフォーマンス向上やモチベーション向上を図ります。

[心理的安全性の効果]

参照：石井遼介著『心理的安全性のつくりかた』



[心理的安全性「変革の3段階」]

変えにくい
↑
↓
変えやすい

	定義	アプローチ
構造・環境	会社や事業・ビジネスの仕組み自体に起因する構造・環境要因	直接のアプローチは難しい。「前提」と捉えた上でその中で何ができるかを検討する。
関係性・カルチャー	組織・チームが背負った歴史に起因する、チームとしての習慣・行動パターン	・心理的柔軟性 ・言語行動
行動・スキル	一人ひとりが行動を取るかどうか。また、的確なタイミング・品質の行動がとれるかどうか（スキル）	・行動分析 ・言語行動